

条例に定められている住宅改良助成事業の予算のゼロ提案は 区長の裁量権を越えたもの—ただちに復活せよ



質問する渡辺修次議員

3月15日は予算委員会第4日目、渡辺修次、伊藤和彦両議員が質問しました。

渡辺修次議員の質問は以下の通りです。

○質問—住宅改良助成について聞く。本会議の質問にも「厳しい財政状況の上で、財政再建の見地から凍結したもの」と答弁したが、13年度最終補正予算では契約差金だけでも20億円も契約差金が生まれている。都市計画費の中でも市街地再開発や区画整理事業をのぞいて5000万円も減額補正しており、凍結しなくてもできたはずではないか。

●答弁—区財政の状況を考え、予算の優先順位をつけさせていただいたものだ。

条例で執行義務があるのに、年度途中でやめるのは公平の原則に反する

○質問—住宅改良助成事業は条例で実施している固有事務ですべての区民に対し、公平に及ぶものだ、予算執行中に止めたりすることは公平の原則に反するし、できないものと思うがどうか。

●答弁—条例の解釈だが、「・・・できる」という規定のもので、区長の裁量権が大きいと思う。住宅改良助成条例の場合は「予算の範囲内」ということで、区長の執行権の範囲内と解釈できる。

○質問—地方自治法222条には予算を伴う条例等についての制限がされており、条例に新たな必要な予算が伴うときは、予算措置を講ずるまでは条例を提出してはならない、とある。逆にいえば予算を伴う条例があれば、予算計上が義務づけられるのではないか。

●答弁—地方自治法222条の解釈は見解が違いますが、予算案（住宅改良助成はゼロ）をご審議いただいている。住民の代表である議会が、予算を認めるという議決があれば、住宅改良助成事業の予算凍結は法令や条例に違反しないと考える。

○質問—区長の裁量権を逸脱していると思う。区長は予算案を「子どもと産業の未来を育む予算」と宣伝しているが、住宅改良助成制度は「助成すれば10倍の経済波及効果があり、町場の大工さんなどに仕事がまわり、かつ良質な住宅確保策として一石二鳥の効果がある」としてきたではないか。

そこで質問するが、自己資金で仕事を発注し、区内業者を使う場合は、助成対象を拡大すべきと思うがどうか。

●答弁—この制度は水害対策として盛土助成からはじまった。下水道も普及して水害が減ってきた、経過の中で、住宅改修の場合の利子補給方式となっており、自己資金で改修する場合は制度の趣旨が違うので助成は困難である。

○質問—担当部署の事しか考えないセクシヨナリズムで狭い考え方だ。建設業のおかれている現状を考えると営業状況は深刻だ。

区長は行政のプロだと区長選挙で宣伝してきたが中小企業の実態を踏まえていない答弁だ。だから中小企業の悉皆調査を区自らが行うよう提案してきたのだがどうか。

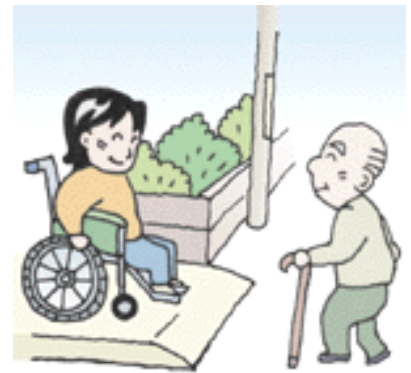
●答弁（区長）—私は行政のプロなどは発言したことはない。

○質問—区道のバリアフリー化について聞く。平成11年度から歩行空間バリアフリー整備計画を策定したがこの計画はどこまで進んでいるのか。

●答弁—千住地域を面的に整備しようと考えたが、予算の関係で面的な整備から個別事業の頻度や効果を考えて進めて行きたい。

○質問—わが党はこういう投資的経費は増やしていいと考えている。高齢化社会、障害者にやさしい街づくりを推進して行くことで必要な予算である。実際にどこを着手しているのか。

区道のバリアフリー整備計画を積極的に推進して高齢者にやさしい街に



●答弁—千住地域の街路工事の中で生涯学習センターにむかう道路で電線の地中化をあわせて実施している。また、駅のエスカレーター、踏み切りの立体化、道路街路事業の中で推進して行きたい。

○質問—高齢社会の中でバリアフリーは位置づけを高め優先的に整備計画をつくるよう要望する。

次に分譲マンションについて聞く。

●答弁—3月9日午後実施したが、竹ノ塚センターで47名の参加。100名になりしだい締切りとしたが、思ったより関心が弱かった。今後、ダイレクトメールなども含めて個別通知を試みたい。

○質問—マンションパンフをつくり啓発したらどうか。

●答弁—マンション適正化法がスタートするので、サポーターとしての区の役割を重視して行く。今後とも情報提供をマンション居住者にしていく。

○質問—綾瀬新橋の暫定整備について聞く。今回、新年度予算で暫定整備をするが、このことで本格整備が遅れるという話があったが影響はないのか。

●答弁—本格整備に影響はないと考える。

2002.3.19

NO.6

日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
e-mail: acmp@blue.ocn.ne.jp
区議団ホームページ
http://www.cpi-media.co.jp/adachi

日本共産党

足立区議団ニュース



3.13区民集会参加者

失業・廃業1万人 深刻さ増す不況の実態一産業はぐくむどころか (ハローワーク) 商店対策は後退、雇用対策も独自策なし

(1面からの続き)

伊藤和彦議員の質問要旨は以下の通りです。



伊藤和彦議員

○質問ー区内産業対策について問う。小泉流「構造改革」のもとで、区内1千万円以上の倒産は平成11年81件、平成12年度は125件、823億円、昨年は前年並みと言っていたが、年末どうだったか。

●答弁ー平成13年度は年末に3倍の倒産があり、131件負債額504億円となった。

○質問ー区内の商店数はどうか。開業と廃業の関係はどうか。

●答弁ー85年には8103店あった商店は91年には6177店に減り、現在も減り続けている。この5年間くらいを比較すると、廃業率が開業を上回り、2対1の割合で減っている。

○質問ーこの状況は長引く不況や大型店の出店のばなし、規制緩和などが原因ではないか。

●答弁ー委員の指摘も原因のひとつであると思う。

○質問ー区内の景況調査が出たが製造業、小売業、建設業ともに収益は落ちこみ不透明感を増している。区は区内産業の現状をどう認識しているか。

●答弁ー大変厳しい状況にある。

○質問ー区内産業は地域経済の担い手であり、地域社会の支えとして足立区を支えている。わが党は産業振興対策は区政の全庁的な重要課題として位置づけ、中小企業・業者の支援を進めるために専門部をつくることを提案してきた。

新年度から産業経済部ができるようになったが、新年度予算の産業経済費をみると増額した10億円はすべて銀行への預託であり、新たな融資制度をつくるものではない。課から部になったが、都市活性化センターや勤労福祉センターからの職員の引き上げて増えたものだ。新しい施策はない。逆に商店街支援策であるポイントカード貸付、プレミアム付商品券発行などは予算が減っているがどうか。

●答弁ーご指摘のとおり。

○質問ーわが党の修正案には「商店街のわが店自慢マップ」作成費を取り入れ、希望する商店街に対し20万円まで30商店街に支援するものを取り入れた。

次に雇用対策について聞く。新年度予算のうち「緊急雇用創出特別交付金事業」は人件費の割合を8割以上、失業者の割合を4分の3以上とする、就労期間も条件付で6ヶ月以上も認めるものとなったがどうか。

●答弁ーその通りです。

○質問ーさらに雇用の際、雇用保

険受給資格証、廃業届など失業者としている。この対象者は足立区ではどの位いるか。

●答弁ーハローワークでつかんでいる足立区、荒川区で1万6千人なので、およそ、区内では1万人弱。

○質問ー区の直接実施として雇用を強調されているが、国の趣旨は、創意工夫に基づいた事業を実施して、公的部門における雇用、就業機会の創出を図ることだがどうか。

●答弁ーその通りです。

○質問ー青年の失業も深刻だ。高校の就職内定率は昨年11月末で50・7%と過去最悪である。青年の雇用対策も実施すべきでないか。

●答弁ー青年と言うことでは常用雇用が必要で本来、国の仕事なので区では対応できない。

○質問ー青年の雇用対策にも力を入れるべきだ。

区内業者の実態調査は科学的に見れる基礎資料にすべき

次に中小企業実態調査とデータ・ベース作成については、平成2年ごろに企業のデータベースをつくったがどうなっているか。

●答弁ー国の事業所統計、NTTの電話帳などを使い製造業一覧表をつくったと聞いている。

○質問ーいま、そのデータはどこにあるか。

●答弁ーはじめ5千万円、次の年に2千万円かけて更新したがその後、更新しなかったため、現在は存在していない。

○質問ー2、3年で使えなくなった。まったくの無駄遣いだ。この反省を生かして、データベースは実態把握と地域経済を科学的に見れる基礎資料とすべきだが、どうか。

●答弁ーご指摘はまったくその通りだ。

「産業振興センター」は支援機能も入れ充実せよ

○質問ー産業振興センターについて聞く。産業振興センターの計画は区内商工業の振興のための拠点施設とするなら中小企業の「技術革新」ための支援機能は欠かせない。支援機能の中には「工作機械や測定機器」などの配置が必要で「あだち産業プラン」でも事業名を明記している。墨田区中小企業センターでは年間2000件から2500件と大変利用されている。ところが足立区の今回の計画ではなくなってしまう。どうしてか。

●答弁ー産業振興センターに対する考え方も変わり、プロポーザルでは施設全体が産業振興に役立つものという提案である。

○質問ーとんでもない。「あだち産業プラン」にも反し産業振興センターの機能を内容的にも規模においても変質させるものだ。まだ、決まっていない計画というなら議論をつくすべきである。

●答弁ー今後、議論していく。

